



二宮町立山西小学校
学校便り「ゆずり葉」
第97号
山西小学校72-3777

○ドレミファコンサート「ありがとう。」

六月一三日(木)にドレミファコンサートが行われました。この音楽会のねらいは三つあります。

- 一、音楽性の基礎を養い、音楽を愛好する心を養う。
- 二、鑑賞する態度を学び、音楽に対する感性を養う。
- 三、自分の役割を果たすとともに、協調性を養う。

子供たちは、ゴールデンウィーク明けから本格的に練習を始めました。朝、職員室にいと各教室から歌声が聞こえてきました。中休みや昼休みになると、音楽室ではアコーディオンや木琴などの楽器を練習する音が響き渡っていました。普段演奏したことの無い楽器を任されたプレッシャーでしょうか、真剣に練習する表情が印象的でした。体育館では、合唱も合奏も、細かいところを何度も繰り返し練習していました。また、マナーについても指導しました。ステージの前に並んだときは、誰かの余計なしぐさが目立ってはいけません。みんなが整然と揃っていることが目立たなければなりません。聴くときは、近くのお友達に話しかけずに聴きます。子供たちには教えなければならぬ立ち居振る舞いがあります。上手に演奏することと同じように大切なこ

とであると考えています。

前日はリハーサルでした。各学年の練習では、「明日は本番です。今日が最後の練習です。」というところで、先生のアドバイスにも力が入っていました。また、保護者の方々の多さに関心の高さを感じましたし、当日に来られない方に、子供たちの生の演奏をご覧いただけたかと思えます。



当日の子供たちの表情は少し緊張していましたが、合奏はどの学年も練習の成果が出ました。主役の鍵盤ハーモニカやリコーダーのメロディーに他の楽器が重なった音が体育館の中に響き渡り、聴いている人々を引き込み楽しませてくれました。合唱では、どの学年もよく声が出ていました。一人一人の声の質は違いますが、みんなの声が重なり合っただけでよい響きを生み出します。それが合唱の良いところだと思います。歌っている子供たち自身も、聴いている人たちも心が温かくなったのではないのでしょうか。こ

○山西小学校 5つめくせ

のドレミファコンサートを通して、自分の役割を果たそうと努力すること、周りと調和しようとすることで素晴らしい音楽を作り上げ、みんなが幸せな気分になれることを学んだことと思えます。ドレミファコンサートに「ありがとう。」

- 一、元気にあいさつをしよう。
- 二、帽子と名札を身につけよう。
- 三、時間を守って行動しよう。
- 四、物を大切にし、後片づけをきちんとしよう。
- 五、廊下や階段は、右側を静かに歩こう。

子供たちが、学校で安心して安全に過ごすために、みんなに守ってもらう約束です。

問い ルールは何のためにあるの？

答え ルールは破るためにあるのではなく、守るためにあります。

問い ルールはなぜあるの？

答え 全体の秩序を保つためにあります。ルールを守らないと、悪いことや自分勝手なことが広がり、社会が乱れます。安全が脅かされます。

「自由⇨自分勝手、好き勝手」ではありません。

子供たちが本当の自由を理解するまでは、私たち大人が、法や道徳的なことも含めて、正しいこと悪

いことを判断する力、自分を律する力、我慢する力、周りと協調する力など、「秩序感覚」を身に付けさせなければなりません。

未知の将来を生きていく子供たちが、清らかにそしてたくましく成長できるようにご協力をお願いします。

○コミュニティ・スクール・見守り部門

本校で行っている「子どもの安全日」では、地区長さんや団体の方をはじめ多くの方々が下校時の見守りをしてくださいました。また、登校時にも自主的に見守りをしてくださった方々がいました。ありがとうございます。朝の登校時は、登校班でまとまっているのですが、下校時は学年ごとに同じ方面に歩いて行くものの、集団で歩こうという意識はなくなっているようです。走り出す子、友達と話しながらゆっくり歩く子、寄り道をする子、石を蹴って他人の敷地内や自動車に当たってしまった子がいました。また、不審者はいつどこに現れるか分かりません。事件や事故に巻き込まれないためには、多くの大人の目が必要ですので、引き続き見守りをよろしくお願いします。



○コミュニティ・スクール・PTA活動

五月十七日(金)にPTA総会が行われ、今年度の活動についての確認がされました。

毎朝の保護者の方々による旗振り当番のおかげで、子供たちは安全に登校しています。グリーンボランティアの活動により、きれいな花が子供たちの登校を迎えてくれます。PTA会議室の中では、たくさんベルマークの仕分けが行われました。

ちよつとずつの
積み重ねが大きな
力になります。



七月六日(土)には、中庭の竈(かまど)を使って、「親子で一緒にピザづくり」をしました。十八日(木)には、クリーンアップボランティアの力を借りして、大掃除を行い、夏休み前に学校をきれいにしました。そして、「広報やまびこ」にて、一学期の学校の様子をお伝えしました。
「皆様のご理解」から、「皆様と一緒に子供たちを見守り育てていく」考え方に変わっています。みんなで力を合わせていきましょう。

○学校研究(国語科)

研究テーマ

「聴いて、考えて、学びをつなぐ子の育成」
「読むことの力を高める言語活動の工夫」

平成二十八年十二月の中央教育審議会答申の中で、子供たちの学力は近年改善傾向にある一方、判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを述べることについては課題があると指摘されました。また、視覚的な情報と言葉との結びつきが希薄になり、知覚した情報の意味を吟味したり、文章の構成や内容を的確に捉えたりしながら読み解くことが少なくなっていること、教科書の文章を読み解けていないこと、すなわち、読解力に課題があるということです。映像や動画などへの興味が強く、読書であっても文章が少ないもの、絵で表現されている本を好む子供たちが多くなっています。

そこで、新学習指導要領にある「児童の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実する」ことを受け、生涯にわたって読書を取り入れていくためにも読解力の改善が必要であると考え、研究のテーマとしました。今一度、読書の大切さを考えてみてはいかがでしょうか。